

「良く噛める総義歯製作のポイント」

— 歯科技工士の立場から —

(株)フェリーチェ

生田龍平

総義歯製作、それは上手くいったり、いかなかったりする。私たち歯科技工士が普通に製作した義歯でも患者さんが「何でも良く噛めます。」と言っていますと歯科医師の先生方から言われたりする。また気合いを入れて製作しても「痛くて噛めません。」と言われることがある。だから義歯って簡単でもあり、難しくもある。なぜそうなるのでしょうか？

まず最初に、私たち歯科技工士の元に届いた模型が良いのか悪いのかの問題もあると思いますが、その模型に対して正しい外形線で仮床、もしくは義歯床が出来ているのか、そして咬合器上での顎位の判断、排列、と私なりに考えてみたいいくつかのポイントを発表させていただき、皆様と共にディスカッションさせて頂ければ幸いです。

略歴

生田 龍平

いくたりゅうへい

- 1959年 生まれ
千葉県出身
- 1980年 東京歯科技工専門学校卒業
- 1980年 納富歯科医院勤務
- 1986年 (株)伊東デンタル研究所勤務
- 1987年 (株)コアデンタルラボ横浜勤務
- 2003年 フェリーチェ開業
- 2012年 (株)フェリーチェ法人化
- 2012年 4月～神奈川歯科大学社会人大学院生 (顎機能回復補綴医学講座)

日技認定講師

日本補綴歯科学会会員

横浜歯科臨床座談会会員

JDA 正会員

イボクラービバデント社 BPS 認定歯科技工士